

2021年6月8日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
 (コード番号 3843:東証第一部)
 本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
 代 表 者 代表取締役社長 CEO 兼 CTO 石田宏樹
 問 合 せ 先 取締役執行役員グループ経営企画本部長 和田育子
 電 話 番 号 03-5459-0522 (代 表)
 (URL <https://freebit.com/>)

**業績予想の修正及び減損損失（特別損失）の計上並びに
 投資有価証券売却益（営業外収益）計上額の確定に関するお知らせ**

当社は、2020年12月11日に公表した2021年4月期（2020年5月1日～2021年4月30日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年4月期通期連結業績予想の修正（2020年5月1日～2021年4月30日）

(1) 業績予想修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,000	2,400	2,300	750	34.78
今回修正予想 (B)	52,009	3,403	3,661	1,586	74.06
増 減 額 (B-A)	9	1,003	1,361	836	
増 減 率 (%)	0.0	41.8	59.2	111.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年4月期)	55,295	2,587	2,481	△619	△27.93

(2) 修正の理由

① 営業利益

前回発表予想は、予想策定時に新型コロナウイルス感染症の“第3波”が到来していたことに加え、“第4波”の到来も勘案して見積もる形で行いましたが、インターネットインフラカテゴリ（インフラテック、不動産テック）の事業が堅調に推移したことで、業績が上振れる結果となりました。

また、2021年4月期を新中期経営計画「SiLK VISION 2024」（7月公表予定）への戦略的移行期間「トランスフォーメーション・ターム」と位置づけ、当社グループとしてのBCP（事業存続計画）を見直すとともに、中長期的な成長を企図した先行投資を実行し、人材リソースの拡充や New Normal に対応したオフィス環境の構築、3G、4G時代の Legacy 資産の清算、pre 5G（新規事業関連）への投資など、概ね計画通りに行っておりましたが、pre 5G 関連の投資については、2021年4月期での実施予定であったものの未実施分を含め、2022年4月期にも継続的に投資を行っていくこととしたため、上方修正を行うに至りました。

② 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

上記の営業利益の上方修正要因に加え、2021年2月3日の「投資有価証券売却益（営業外収益）」

の計上に関するお知らせ」で公表した、当社連結子会社であるフリービットインベストメント株式会社が保有していた上場有価証券1銘柄の株式の売却に伴う投資有価証券売却益が、後述の「3. 投資有価証券売却益（営業外収益）計上額の確定内容」のとおり、当該売却益が115百万円増加したことに伴う営業外収益の増が主な要因であります。

2. 減損損失（特別損失）の内容

データセンターの再構築に伴う既存事業の収益性の見直しによる保有資産の再評価により、減損損失243百万円を特別損失として計上することといたしました。

3. 投資有価証券売却益（営業外収益）計上額の確定内容

2021年2月3日付で「投資有価証券売却益（営業外収益）の計上に関するお知らせ」を公表し、当社連結子会社であるフリービットインベストメント株式会社が、その保有上場有価証券の売却を実施してまいりましたが、今般、2021年4月期における当該計上額が下記のとおり確定いたしました。

	2021年2月3日公表内容	変更内容
売却株式	当社連結子会社であるフリービットインベストメント株式会社保有の上場有価証券1銘柄	変更なし
売却時期	2021年1月～2021年2月	2021年1月～2021年4月
売却益	180百万円（概算）	295百万円

以上

(注) 上記の業績予想の修正は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【説明動画】

業績予想の修正及び7月公表予定の新中期経営計画「SiLK VISION 2024」を見据えた説明動画を下記よりご覧頂けます。公開時間は本日（6/8）夜の予定です。

https://freebit.com/ir/movie/movie_20210608.html